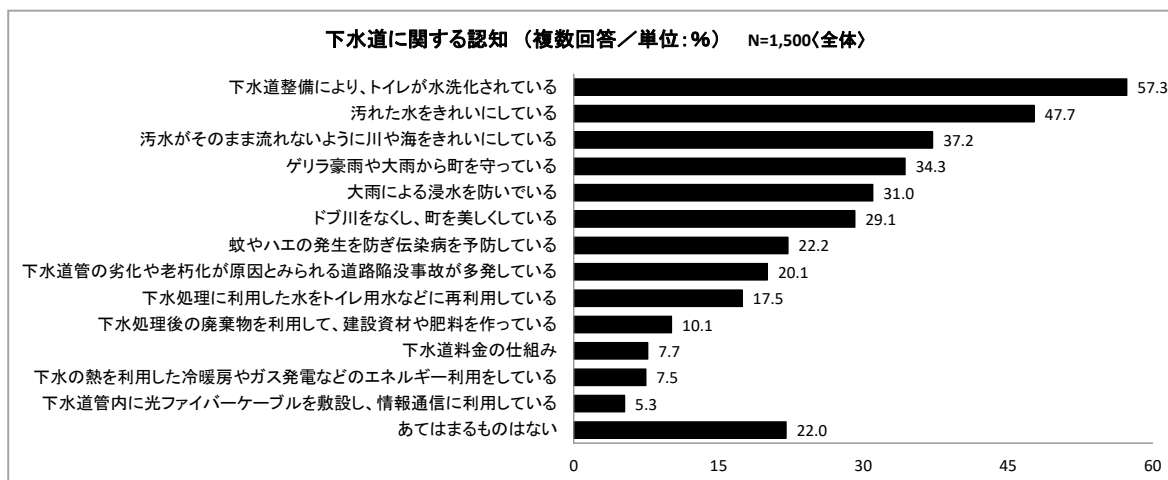


## Q.下水道に関して知っていることは？（13択＋あてはまるものはない）

◇約5人に1人が「あてはまるものがない」と回答。「下水道料金の仕組み」を知っている人は1割未満  
次に今回初めて、下水道の役割などに関する事柄について、予め項目を提示した上で知っていることを尋ねたところ、1位「下水道整備により、トイレが水洗化されている」(57.3%)、2位「汚れた水をきれいにしていく」(47.7%)、3位「汚水がそのまま流れないように川や海をきれいにしていく」(37.2%)となりました。なお、「下水道料金の仕組み」(7.7%)については1割に届かず、「あてはまるものはない」(22.0%)が全体の2割を超える結果となりました。



## 水と生活・文化

東京オリンピック・パラリンピック開催を2020年に控え、訪日外国人観光客が年々増え続けており、昨今のインバウンド市場では、“モノ消費”のみならず“コト消費”にも注目が集まっています。当センターでは2015年より、「水と関わりの深い日本の文化」の調査を行ってまいりましたが、今年はこれに加え、多くの訪日外国人が驚嘆するという日本の「トイレ」と「温泉」について、外国人に紹介したい誇れることを新たに調査しました。また、「最もみずみずしいと感じる有名人」についても、10年ぶりの調査を実施しました。

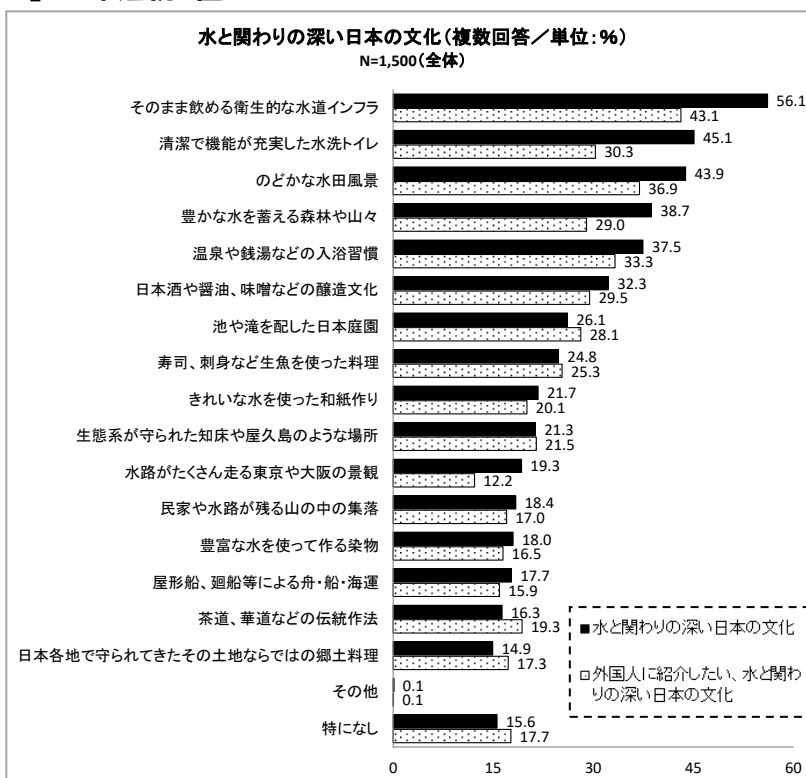
### Q.水と関わりの深い日本の文化は？（16択＋その他＋特になし）

### Q.外国人に紹介したい「水と関わりの深い日本の文化」は？（16択＋その他＋特になし）

◇ともに、「そのまま飲める水道インフラ」が3年連続1位

①「水と関わりの深い日本の文化」と②「外国人に紹介したい水と関わりの深い日本の文化」、それぞれトップは「そのまま飲める水道インフラ」(56.1%、43.1%)で、ともに2015年の調査開始以降、3年連続の1位となりました。

なお、昨年選択肢として新たに追加した「清潔で機能が充実した水洗トイレ」は、上記①では昨年比5.6ポイント増の45.1%で2位となり(昨年は39.5%で4位)、②では3.2ポイント増の30.3%で4位でした(昨年は27.1%で6位)。



## Q.日本のトイレで外国人に紹介したい誇れることは？（12択＋その他＋ない）

### ◇「温水洗浄便座機能」が断然のトップ

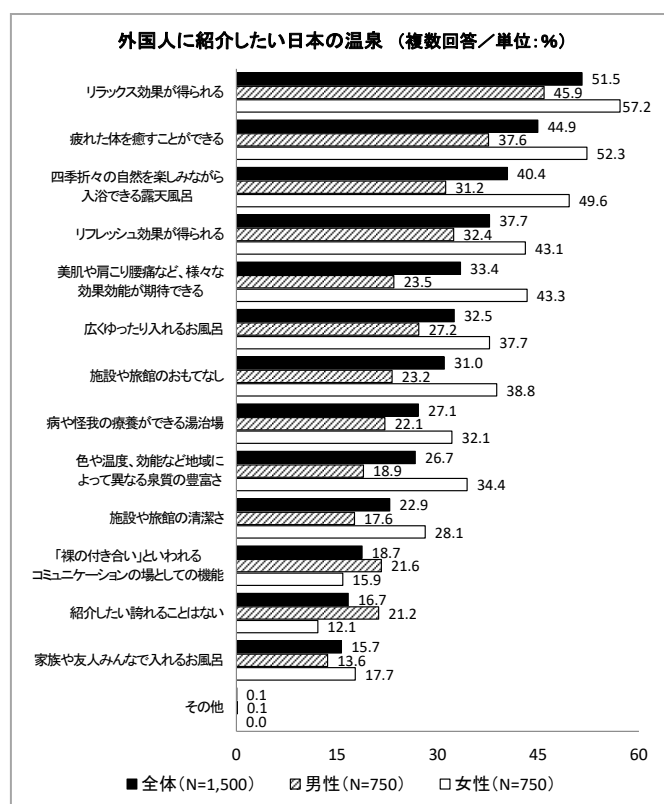
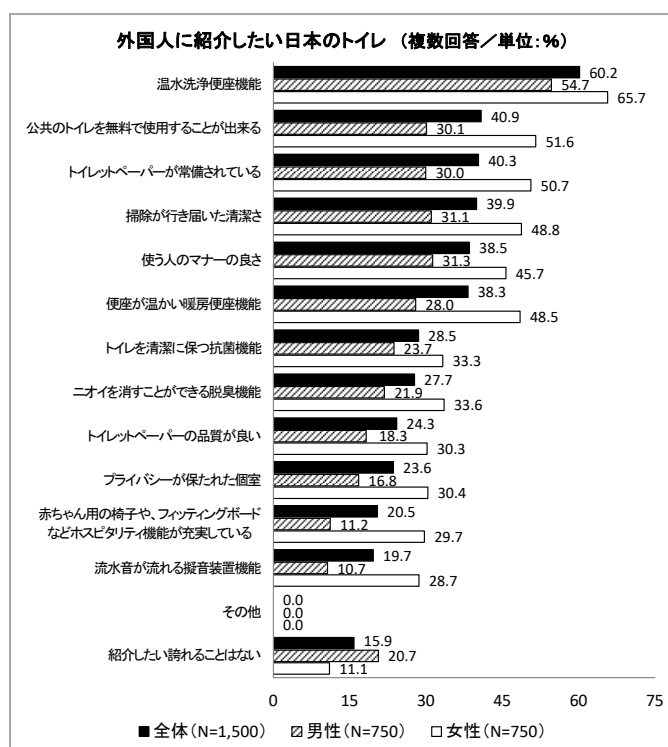
日本のトイレで外国人に紹介したい誇れることについて、選択肢を提示して聞いたところ、「温水洗浄便座機能」(60.2%)が2位以下を大きく離して断然のトップとなり、次いで、2位「公共のトイレを無料で使用できる」(40.9%)、3位「トイレットペーパーが常備されている」(40.3%)、4位「掃除が行き届いた清潔さ」(39.9%)、5位「使う人のマナーの良さ」(38.5%)と、2位以下の上位項目は僅差でした。

## Q.日本の温泉で外国人に紹介したい誇れることは？（12択＋その他＋ない）

### ◇「リラックス」や「リフレッシュ」、「癒し」「自然」「美容・健康」などの項目が上位を占める

次に、訪日観光客に人気のスポットである温泉について、外国人に紹介したい誇れることを聞いたところ、トップ5は、1位「リラックス効果が得られる」(51.5%)、2位「疲れた体を癒すことができる」(44.9%)、3位「四季折々の自然を楽しみながら入浴できる露天風呂」(40.4%)、4位「リフレッシュ効果が得られる」(37.7%)、5位「美肌など様々な効果効能が期待できる」(33.4%)でした。

男女別では、全体的に女性の数値が男性に比べ高い傾向にある中、『『裸の付き合い』』といわれるコミュニケーションの場としての機能」は男性が6ポイント近く上回りました(男性21.6%、女性15.9%)。



## Q.好きな水辺は？（16択＋その他）

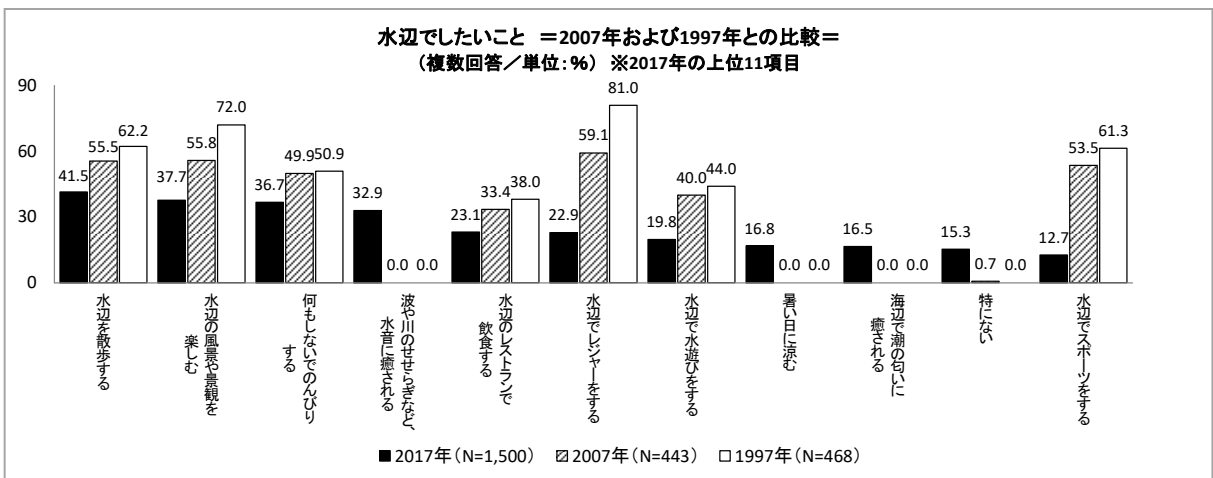
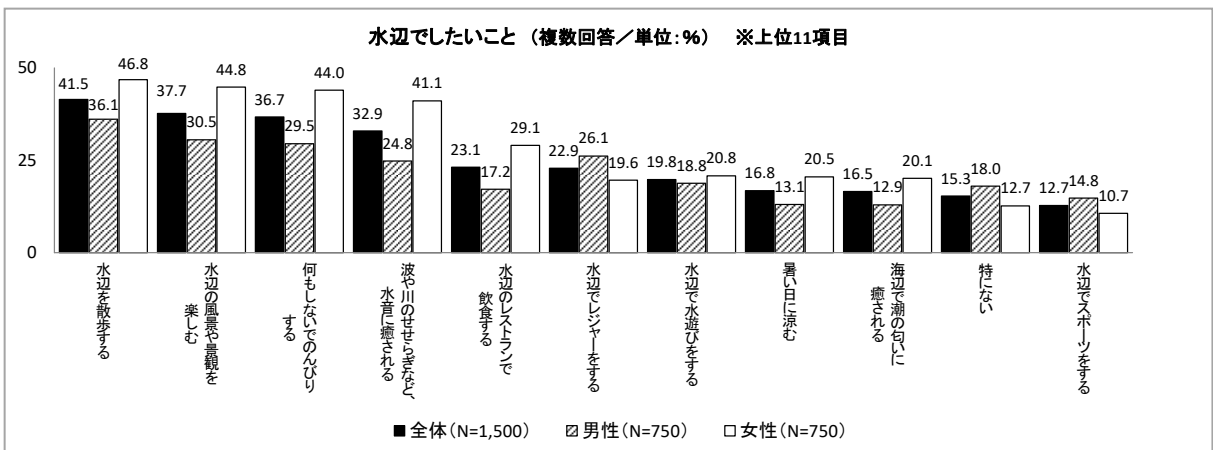
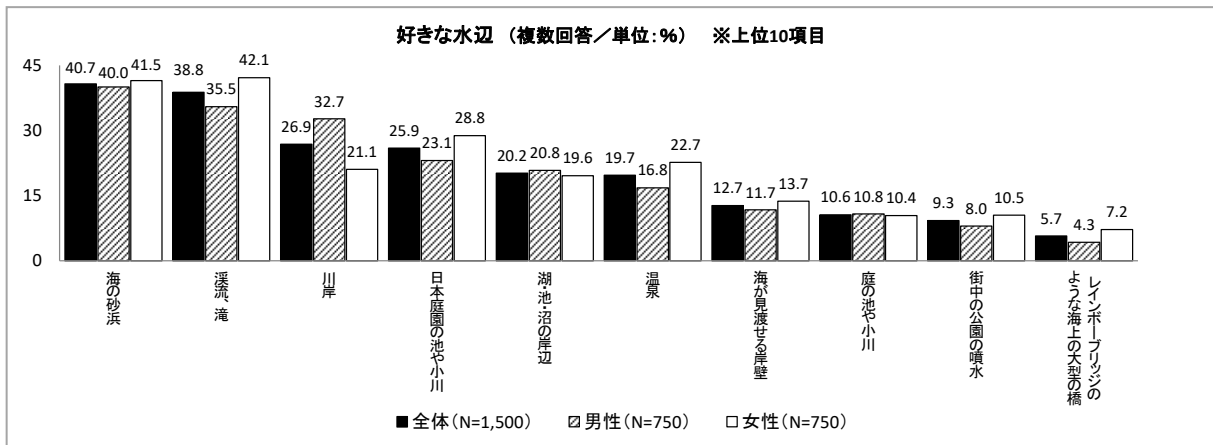
### Q.水辺でしたいことは？（12択＋その他＋特にない）

#### ◇好きな水辺の1位は「海の砂浜」。「温泉」の数値が減少

#### ◇水辺でしたいことの近年の傾向は、「アクティブ」より「癒し」？

「好きな水辺」と「水辺でしたいこと」について、2015年以来的の調査を行ったところ、「好きな水辺」のトップは「海の砂浜」(40.7%)となり、2位「溪流・滝」(38.8%)、3位「川岸」(26.9%)と続きました。2015年の結果と比較すると、2015年は31.1%で3位だった「温泉」が、今回は11.4ポイント減の19.7%で6位になるなど、一部に変化が見られました。

「水辺でしたいこと」については、1位「水辺を散歩する」(41.5%)、2位「水辺の風景や景観を楽しむ」(37.7%)、3位「何もしないでのんびりする」(36.7%)、4位「波や川のせせらぎなどの水音に癒される」(32.9%)と、上位項目は2015年と同様でしたが、10年前の2007年および、20年前の1997年と比較してみると、今回22.9%(6位)の「水辺でレジャーをする」が、2007年は59.1%、1997年は81.0%(ともに1位)、12.7%(11位)の「水辺でスポーツをする」がそれぞれ53.5%、61.3%(ともに4位)と、かつては上位に入っていた「アクティブ」な項目が、順位・数値ともに下げました。近年は、より水辺に「癒し」を求める傾向にあるのかもしれませんが。



※1997年および2007年はFAX調査

※「波や川のせせらぎなど、水音に癒される」「暑い日に涼む」「海辺で潮の匂いに癒される」は、2017年のみの選択肢

## Q.みずみずしいと感じる有名人は？（自由回答）

### ◇1位は広瀬すず。藤井聡太が男性トップの6位

「今、最もみずみずしいと感じる有名人」を自由回答で尋ねたところ、「広瀬すず」がトップとなり、2位「有村架純」、3位「新垣結衣」、4位「綾瀬はるか」、5位「石原さとみ」、6位「土屋太鳳」と、1位から6位までを女性（いずれも女優）が占めました。男性では、史上最年少（14歳2か月）でプロ入りを果たし、デビューから無敗のまま歴代最多連勝記録（29連勝）を達成した将棋棋士の「藤井聡太」が6位タイで男性トップとなりました。この結果を見ると、「みずみずしい」は“旬”ということなのでしょう。

ちなみに、同様の調査を行った2007年と1996年の1位は、それぞれ「長澤まさみ」と「西田ひかる」でした。

## 今、最もみずみずしいと感じる有名人トップ 10

順位	名 前	割合 (%)
1	広瀬すず	7.27
2	有村架純	4.93
3	新垣結衣	3.27
4	綾瀬はるか	3.00
5	石原さとみ	2.20
6	土屋太鳳	1.53
	藤井聡太	
8	波留	1.47
9	福士蒼汰	1.20
10	北川景子	1.13
	菅田将暉	

【ご参考】過去調査時の結果

(2007年調査)			(1996年調査)		
順位	名 前	割合 (%)	順位	名 前	割合 (%)
1	長澤まさみ	15.8	1	西田ひかる	8.1
2	斎藤佑樹	7.8	2	山口智子	6.8
3	藤原紀香	7.3	3	イ子ロー	4.8
4	上戸彩	5.7		安室奈美恵	
5	石川遼	4.2	5	観月ありさ	4.2
6	浅田真央	3.4	6	鶴田真由	2.9
7	松嶋菜々子	2.6	7	松嶋菜々子	2.6
8	成海璃子	2.3	8	内田有紀	2.4
9	吉永小百合	1.8		木村拓哉	
	仲間由紀恵		10	ともさかりえ	2.0
	蛭原友里	瀬戸朝香			

## 沖大幹先生による解説 ～Oki's View～ ③

### 【好きな水辺&水辺でしたいこと】

「海の砂浜」は男女差なく特に若い世代に人気であるのに対し、「川岸」は男性33%、女性21%（7頁・上図参照）と男性が好んでいる。水辺でしたいことについて、「水辺を散歩する」が男性36%で女性47%、「水辺でレジャーをする」が男性26%、女性20%という結果と合わせると、女性は砂浜を歩きたがっているのに対し、男性は水辺でレジャーをしたがっているのではないかと推測される。「水音に癒される」に至っては男性25%女性41%と大差がついており（7頁・中図参照）、男性は水辺で癒されたい女性の気持ちを汲んで、水辺での過ごし方を考えたほうがよいのかもしれない。

### 【みずみずしい有名人】

並みいる女性陣に混じって将棋棋士の藤井聡太氏がトップ10に入っている。「若くて活躍しているとみずみずしいと感じてもらえるのか」というのは年寄りのひがみか。

基本的には連続ドラマやCMで目にする機会が多いタレントが上位になっているようにも見え、「みずみずしいと感じる」でなくとも「好感度が高い」や「応援したい」、あるいは単に「知っている」でもほぼ同じ結果になるのではないか、という気もする。

## 水と災害

**Q.不安に感じている災害は？**（22択＋その他＋特に不安を感じたことはない）

**Q.最も不安に感じている災害は？**（22択＋その他）

◇「台風」が全体の1位に。但し、“最も”不安に感じているのは「地震」

不安に感じている災害を聞いたところ、「台風」(58.5%)が1位となり、昨年トップの「地震」(55.3%)が2位で、以下、3位「ゲリラ豪雨」(51.8%)、4位「突風・竜巻など」(24.1%)、5位「水不足」(22.6%)と続きました。居住地別にみると、中京圏と大阪圏は、ともに「台風」が6割超（中京62.0%、大阪60.0%）で1位でしたが、東京圏の1位は「地震」(58.4%)となり、「台風」(53.6%)は2位でした。

上記「不安に感じている災害」の設問と同様の選択肢で、「最も不安に感じている災害」を1つ選んでもらったところ（「特に不安を感じたことはない」の回答者は含まず）、こちらは「地震」(44.8%)が断然のトップで、「ゲリラ豪雨」(15.5%)が2位、前問1位の「台風」(14.7%)は3位という結果になりました。